



第69号

# 東稲ニュース

平成25年3月10日発行  
発行責任者 平山正徑  
編集責任者 大島勝典

E-mail:mx3hirayam@m8.dion.ne.jp  
http://homepage2.nifty.com/35292/

早稲田大学校友会東久留米稲門会

〈総会特集号〉

東久留米稲門会第19回定時総会にご来場下さい

会長 平山正徑

陽春の候、会員の皆さま、東久留米市在住の早稲田大学校友の皆さま健やかに過ごしのことと存じます。

本号〈総会特集号〉は当市在住の1000名を越える校友全員にお届けいたします。一年に一度会員、校友が一堂に会する機会がこの総会です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

早稲田大学はご高承の通り20年後の創立150周年に向け、アジアのリーディング・ユニバーシティとして「WASEDA VISION 150」を定め、大学・関係者は基より50万人を超える校友の協力を得て推進して行く決意を示しました。当会としても学問の充実、世界を舞台に活躍できる後輩の育成のために支援をして参りたいと考えております。

今年も本紙に掲載してある15部会の活動を積極的に推進し、「東久留米に稲門会があって良かった」という仲間を増やし相互の交流と親睦を図って参ります。



## 第19回定時総会・懇親会のお知らせ

記

- 日 時 : 平成25年4月21日(日) 午後2時00分
- 場 所 : 成美教育文化会館 1階 ギャラリー Tel 042-471-6600  
東本町8-14 東久留米駅北側清瀬方面線路沿い徒歩6分
- 文化講演会 : 午後2時00分  
講師 倉田秀道(59年社会科学部卒) 早稲田大学スキー部監督  
演題 「勝利の裏側にあるもの」
- 総 会 : 午後3時30分  
議題 平成24年度事業報告  
平成24年度収支報告 同会計監査報告  
平成25年度事業計画  
平成25年度収支計画  
平成25年度役員改選
- 懇 親 会 : 午後4時30分 3階大研修室 会費 3,000円

以上

## 東久留米稲門会会員継続のお願いと入会のお勧め

### ○会員の皆様へ

会員更新の時期が参りました。平成 25 年度（4 月～翌年 3 月）も引き続き東久留米稲門会の会員継続をお願いいたします。

また、早稲田大学校友会会員を中断している、あるいは未入会の方、早稲田大学を応援するために校友会への入会をお願いいたします。（入会申込書同封）

今年度も会員継続よろしくをお願いいたします

### ○校友の皆様へ

当会も 19 年目を迎え各行事、各部会・サークルの活動が活発に行われております。「東久留米稲門会に入って良かった！稲門会は面白い！」という声が多くの方から聞かれるのは、次のようなことからです。

- ① 地元で同窓の友人ができる。
- ② 部会、サークルが多くあり、同じ趣味を持つ人と仲間になれる。
- ③ 新年会、総会懇親会、秋の旨いもの会等では、飲食の合間に親交を深め早稲田大学の校歌を全員で歌うことができる。

早稲田は一生楽しめます。地元同士のお仲間になりませんか。

校友の皆様の入会を心からお待ちしております

### ○年会費の振込手続き

年会費は 3,000 円です。同封の払込取扱票（青色）を使用して最寄りの郵便局から 5 月末日までにお振込みください。総会にご出席の方は受付の際 3,000 円をお支払いいただく方法もございます。

### ○総会出欠返信用はがき

同封のはがきに出欠のほか必要事項をご記入のうえ 4 月 10 日までにご投函下さいませようをお願いいたします。

## 会員になると

東久留米稲門会の会員として登録され、奇数月 10 日発行の「東稲ニュース」及び各部会の募集チラシが宅配されます。7 月号では新年度会員名簿（規約、弔慰規定掲載）、が配付されます。また当会主催の総会、新年会、秋の旨いもの会のご案内のほか、太極拳、囲碁、俳句、書道の各部会に入部した場合、同趣味の仲間と親睦を深め、技量のアップが図れます。また女性、散策山歩き、ゴルフ、グルメ、郷土研究、ウォーキング、カラオケ、旅行、野球・ラグビー観戦、芸術鑑賞部会には何時でも自由にご参加いただけます。

# 文化講演会

主催：東久留米稲門会

日時：4月21日(日)14:00 場所：成美教育文化会館 ギャラリー

演題：『勝利の裏側にあるもの』

講師：倉田秀道氏 早稲田大学競技スポーツセンター客員教授  
早稲田大学スキー部監督

多くの会員・校友のご来場をお待ちしております。

## 会の告知板

3月20日(水)	お誕生会	17:00	東久留米「やる気茶屋」
3月31日(日)	ウォーキングを楽しむ会「川越」	9:00	東久留米駅改札前
4月7日(日)	臨時役員会	13:30	生涯学習センター
4月21日(日)	平成25年度定時総会	14:00	成美教育文化会館

## [大学・校友関係]

- 3月2日(土) 早稲田大学春季代議員会 安次峰、高橋、小山田
- 2013年稲門祭実行委員選任について 別処、小山田両幹事が選出された。
- 2012年度校友会組織強化補助費の申請に当たって A.稲門会として野球部に3万円の寄付、B.稲門会記念品の販売総額が17万円以上(校友会寄付金を含む)、C.稲門祭に景品協賛2万5千円以上(広告協賛1万円を含む)、D.20~30代以下の若手校友を対象に「秋の旨いもの会」に招待し組織化を目的とした企画をし1月申請したところ、以上が認められ20万円と通常の補助金4万8千円合わせて24万8千円が1月30日付で入金されました。

## [会の報告]

### 平成25年新年会

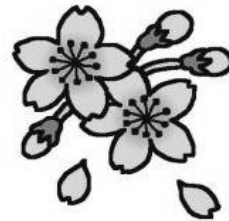
新春恒例の新年会が1月26日(土)17時より成美教育文化会館大研修室で行われました。参加者は当日5名の欠席があったが、44名が参加、冒頭平山会長による挨拶「今季の早稲田スポーツは期待に反し今ひとつであった、一方世の中はアルジェリアの人質事件などで喧しくなっているが今夜はそれらを忘れて楽しく過ごして欲しい、また新しい人が参加して頼もしい限り交流を深めていただきたい」続いて西東京稲門会囲碁同好会秋元武さんの紹介、お祝い(清酒、焼酎、金一封)の報告後、高橋二代会長の乾杯で懇談へ、銘酒に寿司、手製のおでん、和洋中の料理で舌鼓、あちこちに話の輪が広がり、大いに盛り上がる。途中で橘さんのクイズ、新会員の鈴木さん、初参加の船津さんの自己紹介及び大矢さん、呉さん、後藤さん、高沖さんの近況報告、締めは大矢さんのリードと大島さんのハーモニカで「紺碧の空」と「校歌」を斉唱し帆角三代会長による三本締めでお開きとなった。(別処尚志記)



大矢さんのリードと大島さんのハーモニカで「校歌」 斉唱で新年のスタート

## 総会特集

## 部会紹介



### 女性サークル

部会長：石寺美弥子 女性会員 16名

女性サークルは東久留米稲門会設立の翌年平成8年から活動を始めた“歴史ある部会”です。全会員数の一割という数少ない女性会員同士の親睦を深めることにとても大きな役割を果たして参りました。部会に活動は、年2～3回で、美術館、博物館等での鑑賞、草花園散策、工場見学などで、前回は「多摩六都科学館のプラネタリウム」の見学でした。女性会員ばかりではなく男性会員にも参加を呼び掛けております。

どのような活動をするかは、毎回会員の話し合いや、部長の独断？で決めています。

### 散策山歩き部会

部会長：安次峰暁 平均参加者数 5～10名

東京近郊の低い山や丘へ日帰りハイキングを行っております。昨年春は加治丘陵へのハイキング、秋は平林寺を予定していましたが雨天中止となりました。新緑と紅葉の年2回4～5時間の行程でゆっくりしたペースを心がけております。山頂での昼食を楽しみ、ゆっくりと自然に触れながらの散策、帰りの反省会は一献傾けながら談笑で締めくくります。決まった部員はなくどなたでも自由に参加できます。

### ゴルフ部会

部会長：伊東 毅 部員 20 名 参加者数 10 名前後 年間開催数 4 回（5 月、6 月、10 月、11 月）

平成 7 年の稲門会設立時より活動を始めて以来、50 数回のゴルフ会を開催しております。中でも 8 年前より始まった東久留米三田会との対抗戦形式の懇親ゴルフ会は既に 17 回に及び早慶エンブレム入りの共通の帽子を被って、よきゴルフライバルとの和やかな一日を過ごすイベントが、当部会のハイライトとなっております。誰でも、いつでも、うまい下手に関係なく参加できます。最近では人気ある熊谷GCでのプレーが多くなっております。ゴルフ愛好者の新規参加をおまちしております。

### 囲碁部会

部会長：苅草 正守 部員数 17 名 平均参加者数 12 名 開催日時 毎月第 4 日曜日

会員の棋力は九段から級位者まで分布しており、年 1 回の囲碁研修 1 泊旅行と年間最多対局・最高勝率の表彰を実施している。西東京稲門会からの参加もある。稲門会全体としてはオール早稲田囲碁祭、稲穂会・囲碁オール早慶戦に参加しており、今後は早慶どんぐり会やオール早稲田級位者大会にも参加する予定である。

### 俳句部会

部会長：三田 三 開催日時 毎月 第三日曜日 開催場所 生涯学習センター

平成 24 年 8 月で 146 回の句会を達成しました。現在、会員 21 名、毎回 15 名前後の出席で各々 3 句（兼題 2 句、当季雑詠 1 句）投句、5 句選句、欠席投句もあり、吟行は春、秋の年 2 回で進めています。時に顧問をお願いしている杉本先生の優しいご指導、助言も頂きながらの和気藹藹、楽しい句会です。

かの正岡子規は「俳句は五七五の組み合わせ、順列組合せで作品の数に限界が来る。自分が死んで百年たったら俳句はなくなる」と予言したとか。百年はとっくに過ぎましたが今や日本の俳句人口は六百万とも一千万とも。世界各国でも流行っているようです。

自然が身近になります。花鳥風月と仲良しになれます。そして楽しく頭の体操ができます。会員各位のご入会をおまちしています。

### カラオケ部会

部会長：安次峰 暁 開催日時 毎年 7 月と 12 月最終土曜日 2 回 場所 東久留米駅前「オンチッチ」 参加者数 7～15 名

平成 13 年 10 月発足以来 11 年、場所を変え今日に至っております。歌好きが集まり、持ち歌を酔いの赴くまま気持ちよく歌いつなぎながらの 3 時間です。気軽にご参加ください

### 書道部会

部会長:武藤 豊 部員数 15名 開催日時 毎月第二日曜日 開催場所 生涯学習センター 古典を基礎、基本にした書の修練、毎年市民展出品、2年に一度部員作品展を開催また、書と水墨のコラボレーション開催（東京都美術館）。書道部が発足して14年、発足当初は殆どの部員が60の手習いとしての参加であり、長続きするのかな、と危惧されたが、“読書百遍意自ずから通じる”の格言通り書も百篇書けばそれらしい書になる、と互いに叱咤激励しながら各部員が書に真摯に取り組み、年を追うごとに上達、現在は各自が自ら書を創作する程の腕前になってきました。継続力、習慣力の賜です。書の世界（精神）は玄奥ですが今後とも書を趣味として稲門会の文化活動の一端を担うべく部員一同、鋭意努力していく所存です。初心者の方、経験のある方何方でも入会をお待ちしております。

### 太極拳の集い

部会長:鮎貝盛和 部員 30名 平均参加者 15~20名 毎週土曜日（一部休みあり。年間45回程度）成美教育文化会館 中国3000年の歴史をバックに修業・武道から現在は健康管理・増進にひろがり、当会も体力、気力の充実をめざし、楽しくやっています。メタボ解消・柔軟な体を作り出す準備運動、楊名時の健康太極拳を中心に現在は中国伝来の簡化24式太極拳にも取り組み始めたところです。是非一緒に体を動かしましょう。一般市民の方も半数くらいいます。お友達お誘いの上ご参加下さい。

### グルメ部会

部会長:比護喜一郎 平均参加者数 10~18名

年輪を重ねるに従い、旨いものへの郷愁が高まるようです。当グルメ部会では手頃な所謂B級グルメの店を探求し、そしてその街の文化、歴史、自然背景も併せ見聞、学習する胃袋、脳の活性化に資する健康かつ愉快的な会です。春、秋と年2回の開催ですが、フランス料理、鰻、鮎鱈鍋、天ぷらとジャンルに拘らず実施して来ましたが、今後も食したいもの、行ってみたい店あればお知らせいただければ幸いです。次回企画についてはタイムリーにお知らせして参りますので、ご家族友人共々ご参加ください。

### 郷土研究会

部会長 高橋 哲男

これまで東久留米七福神、湧水巡り、東京都の管理する南沢水道施設、自由学園、府中市郷土の森博物館と大国魂神社他、郷土の歴史講演会を開催し、いずれも好評を博して参りました。これからも東久留米及び多摩地区の古跡、名勝を訪ね歩いたり、講演会を開催いたしますのでお気軽にご参加ください。

### ウォーキング部会

部会長： 森田隆 平均参加者数 10～20名

「ウォーキングを楽しむ集い」は平成15年第1回から回を重ねて第41回目となりました。平均参加人数は15名位で年間の開催数は春2回、秋2回の計4回です。東久留米駅に自由に集まり、都内の名所・旧跡や近郊の自然の中などを楽しく歩きます。徒歩行程6km、徒歩時間2時間30分位が標準的な実績です。

最近の活動としては「山手線一周巡り」を4年間にわたり15回で行いました。これからは、今までの実績の中からピックアップした「アンコール・ウォーキング」を行う予定です。皆様のご参加を期待しております。

### 東京六大学野球早慶戦観戦会 森田隆

早慶戦第1戦を神宮球場一般内野席にて観戦します。平均参加人数は5名位で年間の開催数は春と秋の2回です。早稲田大学は春のリーグ戦では3季ぶり43回目の優勝を果たしました。ただし慶応には1勝2敗で勝ち点を取られてしまいました。今季は久しぶりの連覇を目指しています。佐々木主将を中心に投打とも実力のある選手が揃い、特に1年生の吉永投手が有望視されています。学生時代を思い出しながら母校を応援しましょう。多くの皆様のご参加を期待しております。

### ラグビー観戦部会

部会長 藍原 昌義 平均参加者数 5～10名

11月3日、早慶戦を指定席で観戦、更に12月第1日曜日の伝統の早明戦を中心に対帝京戦、筑波戦も観戦します。更に上井草早稲田グラウンドで行われるジュニア選手権や公式戦の前に組まれる練習試合など、場合によっては夏合宿の菅平まで足を運ぶこともあります。それぞれ観戦スケジュールはその都度東稲ニュース、チラシでお知らせいたしますので観戦ご希望の方は早目に藍原までご連絡下さい。

### 芸術鑑賞部会

部会長 菱山房子

芸術という多岐のジャンルのある中、クラシック音楽のコンサートを中心に数回開催して来ましたが、今後は現代音楽など歌唱、オペラのみならず範囲を広げ歌舞伎、文楽、演劇、落語、能狂言に絵画、彫刻他各種の展覧会、催しの見学会なども同好の会員と共に楽しむ会へと発展を予定している。会員同士同好の方々と出会い時には芸術談義を楽しみ親睦を深めていけることを願っております。珠玉の催しを選び紹介していきます。また会員からの情報やご希望もお寄せください。

## 旅行同好会

部会長 井坂 宏

最も新しい部会で平成 24 年 5 月「松本・安曇野・善光寺」貸し切りバス、宿泊は穂高温泉「江戸川区立穂高荘」、参加者 15 名。10 月「東北被災地見学ツアー」新幹線と貸し切りバス、宿泊は松島活魚の宿「こちら丸特事業部」、参加者 12 名を実施した。どちらも好天に恵まれ、気心の知れた仲間同士、大いに旅行の醍醐味を堪能した。

第 3 回は「谷川・照葉峡・吹き割れの滝・丸沼・奥日光」貸し切りバス、宿泊鎌田温泉「梅田屋旅館」を計画している。詳細は本号「部会だより」をご覧ください。

春秋 2 回実施を予定しております。

## 映画鑑賞会

部会長 松崎 博

平成 14 年 11 月 9 日（土）中央図書館 1 階視聴覚教室に於いて 16 ミリ映画の映写会鉄道員（ぽっぽや）を皮切りに年 3～4 回の開催で既に 37 回を数えている。2 回目よりビデオによる映写会に切り替え、会場も市民ホールを使用しての開催を 15 回程続けた。観客が増えるに伴い、席数が多く環境、設備が整った成美教育文化会館に移し、今日至っている。映画は主に欧米の古典的名画を上映している。最近は毎回 300 人位の観客が詰めかけている。開演前の当会会員米光慶二郎氏による事前解説も鑑賞会の特長である。この行事が当会会則の“東久留米市の発展に貢献する”という主旨に合い市民に歓迎されている所以である。

## 【部会報告】

お誕生会

お誕生会は 3 月で終了いたします。



1 月は松崎、平山、東海さん



2 月は帆角さんお一人でした

3 月のお誕生会は 20 日（水）17:30 から「やる気茶屋」で行います。3 月生れの方は大津修、村野建彦、岡田潔、梶井琢太、長谷山勝美、伊佐九三四郎、渡辺一朗の皆さんです。

★お誕生会は 4 年間実施して参りましたがややマンネリの様相があり 4 月より休会いたします。



## 俳句部会

1月20日(日) 第151回句会 於： 市中央図書館 2F 集会室(小)

兼題： 「冬の夜」、「福寿草」、当季自由題

居酒屋の一隅華やぐ福寿草	神田 尚計
家路急ぐ靴音響く冬の夜	棚野 愛子
不ぞろいのラジオ体操冬木立	杉本 達夫
ふと目覚め偲ぶふるさと夜半の冬	神田 尚計
冬の夜や折り紙といふ手なぐさみ	河村 洋子
荒海に負けぬ越前野水仙	藤田 貞夫
まだ暫し生きるつもりの小豆粥	三田 三(畔巢)



\*高得点(4点)句以上

2月17日(日) 第152回句会 於： 市商工会館 2F 会議室

兼題： 「紅梅」、「春浅し」、当季自由題

遅れ来るバスを待つ間の夜寒かな	神田 尚計
幼きて頬杖まねる春炬燵	三田 三(畔巢)
紅梅や合格の絵馬恋の絵馬	棚野 愛子
紅梅の一輪ごとに意地宿し	馬場 清彦
片方の手袋いずこ春浅し	神田 尚計
朝ぼらけ古希の門出の薄紅梅	橘 優治
みほとけの細き指先春浅し	三田 三(畔巢)



\*高得点(3点)句以上

\*前号掲載の句に間違いがありましたのでお詫びし訂正いたします。

正 黴句ふ古書店街の夕時雨 誤 黴句ふ古書店外の夕時雨 (比護喜一郎記)

## 書道部

1月12日(土)～17日(木)まで東京都美術館2F第2展示室に於いて第12回公募「国際書画交流会展」会長 福田秀仙(稔)に2回目となる稲門会書道部14名が1～15作品74点を出品しました。14日は大雪に見舞われましたが当会からも多くの会員が参観され、部員の力作に高評価をいただきました。



---

## 部会だより

### 旅行同好会

第3回旅行同好会の日程が変更になりました。

1月の東稲ニュースでお知らせした「谷川・照葉峡・鎌田温泉・丸沼・奥日光の旅」については、日光白根山の絶景を見るロープウェイの運行が6月から開始されるので、それに合わせて旅行会の日程を変更しました。

今回の旅は日本三大岩場と云われる一の倉沢を望み、関東の奥入瀬渓谷と云われる照葉峡を見、東洋のナイヤガラと云われる吹割の滝を観光し、さらに二日目にはなかなか見ることの出来ない日光白根山を見、金谷ホテルで昼食をしようと言うちょっと贅沢な旅にしました。

宿泊の鎌田温泉は沼田と尾瀬を結ぶ街道の秘湯と云われる温泉で、梅田屋旅館には露天風呂も

0  
全行程バスでこまめに休憩が取れますし、(日)～(月)と云う日程にしましたので大勢の方の参加をお待ちしております。

- ・期 日 : 平成 25 年 6 月 16 日 (日) ～17 日 (月)
- ・集 合 : 東久留米市役所前 午前7時50分
- ・行 程 : 16日(日) 東久留米市役所 8:00==上里SA==10:00 水上IC==10:40一の倉沢 11:10==湯檜曾==12:00 水上高原ゴルフ場(昼食) 13:00==照葉峡==尾瀬戸倉==15:00 吹き割の滝==17:30 鎌田温泉(梅田屋旅館)泊  
17日(月) 鎌田温泉 9:00==9:30 丸沼(ロープウェイ) 山頂(白根山観光)(ロープウェイ) 丸沼 10:40==金精峠==湯滝・・・戦場ヶ原 11:40==12:10 日光金屋ホテル(昼食) 13:15==中禅寺湖・華厳の滝観光 14:30==いろは坂==今市==宇都宮==蓮田 SA==和光 IC==17:30 東久留米
- ・会 費 : 3万円
- ・参加を希望される方は下記までご連絡ください。井坂 宏 477-1632 (FAX可)

[Isk-h112226@globe.ocn.ne.jp](mailto:Isk-h112226@globe.ocn.ne.jp)

---

### 〈会員リレーエッセイ〉 ～噴水広場～

平子 敏夫(36年教育)

前回(東稲ニュース第68号)では、カナダに落ち着く際に経験した苦勞について、思いつくまま書かせていただいたが、今回は、生活費について、少し書いてみたいと思う。

前回にも書いたが、われわれ夫婦が住み着いたのは、BC州(British Columbia 州)のサーリー(Surrey)というバンクーバーのベッドタウン(因みに、英語では、a bedroom town という)であった。人口10数万の中堅都市だが、面積が広く、公園が多い。道路は広く(舗装は決して上等ではないが)、快適な生活ができる。人々は一般に穏やかで、アメリカのような露骨な人種差別には会わない。

---

本題に入ろう。過去の家計簿を紐解いてみると、生活費は日本に比べて、特に安いということはない。生活程度にもよるし、為替レートにも影響を受けるので、厳密な比較は難しい。筆者の”感じ”であるが、総体的に、ほぼ同程度と思ってよいのではないかと思う。ただし、往復の航空運賃は、完全に持ち出しになる。

われわれは、支払には、主にクレジットカード（円建て決済）を使っていた。大額の現金は、携行しなかった。クレジットカードは、日本より広範に使える便利である。

因みに、カナダドル対日本円のレートは、2000年の¥73.39（我家の家計簿上の平均値。以下同じ）が最も安く、2007年の¥132.19がもっとも高かった。

食品は安く、衣料品は高かった。住居費は同程度だと思う。水道光熱費は安い。水道料は従量制でなく、年間固定制である。固定資産税と一緒に算定され、一緒に納める。緑の環境を守るため、従量制では間尺に合わないのだ。ガス料金は年間使用料を月割りで請求され、月額 Cdn\$32。電気料金も同じく Cdn\$30 である。水道料 Cdn\$560 を仮に 12 等分すると、月額 Cdn\$47 となり、水道光熱費の月額合計は、Cdn\$109 程度になるうか。（ガスと電気料は、半年居住の年額使用料を 12 で単純に割り算したものである点ご注意願いたい。）

なお、冷房はない。夏の暑い夜はベースメントの寝室で寝る。極めて快適である。

電話料は、市内通話は無料（市内というのは、Greater Vancouver 全域を指す）。何時間しゃべっても無料である。ただし、基本料金は月額約 Cdn\$39 と NTT の基本料金に比べ、高目ではある。日本への国際電話の通話料は、日本では到底考えられぬ低額である。アメリカ同様、業者の自由参入が認められており、競争原理のお陰で、1 分間僅か 2～3 セントである。30 分間の通話で 60～90 セントである。テレビは、ケーブル会社と契約し、毎月 Cdn\$96（TV Japan 視聴料と Internet 含む）ほどを支払っていた。これは、日本のケーブルテレビ+Internet の方が安いかもしれない。（TV Japan というのは、日本語番組専門テレビで、主として、NHK の番組を時期遅れで放映している。）

消費税は、GST(Goods and Services Tax)と PST(Provincial Sales Tax)とから成り、(GST は連邦税、PST は州税)。どちらも 7% だったが、確か 2006 年だったと思うが、GST を 5% に引き下げた。PST は、州によって違う。BC 州では、GST+PST 合計 5%+7%=12% となった。ただし、品目によって“軽減税率”の適用がある。食料品を始め、生活必需品が非課税である。農産物の一次産品、すなわち、米、パン、野菜、果物、肉、魚、牛乳などは非課税品目である。これらは、商品そのものの値段が、日本に比べて、そもそも安い。その他、処方薬、調剤費、医療費（歯科含む）、教育費等も非課税である。GST は非課税だが、PST は課税されるという品目やサービスもある。複雑になるので割愛する。

現在は、BC 州では、GST と PST は廃止され、一本化されて HST(Harmonized Sales Tax) 12% となっている。軽減税率も、そのままの基準で適用されているようだ。ついでに、BC 州の隣のアルバータ州では、PST はかからない。産油州だから潤っているのである。

冒頭の記述と重複するが、衣食住にかかる費用を、日本との大雑把な比較でいうと、“衣”料品は高く、“食”料品は安い。外食は、日本より高いと思う。ただし、一人前が大きいので、昼食などは、一人前を注文して、二人でシェアすれば、安く食える。McDonald のようなファストフード

---

---

は、日本と同程度と思えば間違いない。(日本食の外食は、ポーションが日本並なので、シェアできない。高くつく。)

住居費は、われわれが、始めた頃(1998年当時)は、明らかに、安かったが、2007~2008年頃に住宅バブルが起こり、家の値段は急騰した。住宅の規模が日本とは、かなり違うので、単純な比較はむづかしいが、最近では、夫婦二人用の住居(アパートにせよ、一戸建にせよ)は、日本と同程度ではないかと思う。勿論立地や環境によって、ばらつきがある。

少し脱線をお許し願いたい。知人の中に、カナダからタイへ移住した夫婦がいるが、チェンマイで暮らすと、年金でも貯金ができると云っている。カナダでは、残らないと思った方がいい。でも、バンクーバーは、生活するには快適なところである。(我々、高齢者にとって憂慮すべき事情もあるのだが、それについての詳述は別の機会に譲る。)結局、1998年から2008年まで、夏の半年カナダ、冬の半年日本という生活を続けたが、諸般の事情から東久留米に落ち着くことにした。蛇足になるが、冬のバンクーバー地方(冬の生活も経験している)は、毎日雨である。緯度は高いが、海流の関係で、冬としては温暖な気候で、雪はあまり降らない(ただし、降るときは、結構降る。雪の町並みもいい)。また、冬の日暮れは早い。12月は午後3時半頃には真っ暗になる。(これも結構オツなものではある。特に、クリスマス前後の町の風情は日本とは異質のものがあって、それも中々いい)。

バンクーバーでの生活を経験された方も多いと思うが、筆者の思い違いで、間違っている箇所やご質問があるかもしれない。ご連絡いただければ幸甚である。(e-mail: [thirako@jcom.home.ne.jp](mailto:thirako@jcom.home.ne.jp))

---

## 東稲広報室

○新年会収支 収入の部会費及び祝儀 135,000円、支出の部 会場費 19,150、寿司 28,350、ケイタリング 65,000、飲料代 14,961、配膳 9,500、おでん具材他 9,916 計 146,877 差額 11,877円は会で負担した。

### <編集後記>

●やわらかい陽光にせかされて、桜前線が列島北上の旅に出発した。今号は総会特集号。各部会の活動紹介は幹事の方々の湧き上がる努力と手応えが凝縮され紙面を彩る。これからは時には大胆に変革を実行していくことも必要だろう。魅力ある部会は稲門会にいつその輝きをもたらす。今回もまた今号は市内の校友全員に配布される。会員増加の願いをこめて●威風堂々として壮麗だ。遅ればせながら百年前のすがたによみがえった東京駅丸の内駅舎に行ってみた。落ち着いた色のドーム形の屋根、褐色のレンガ、繊細な装飾の色彩美が眼にまぶしい。道行く人々をほんのり赤く染める。周辺の高層ビルもかすむ圧倒的存在だ。一方で規模は違うが、住民の願いもむなしく姿を消した駅や、消えつつある駅は絶えない。赤い三角屋根で親しまれた国立駅舎は解体され、高尾駅も建て替え計画があるという。由緒ある建築物を収益性の視点からしかみない発想は悲しい。駅舎は母校と同様、心のふるさとだ●このたび、今号をもちまして編集責任者を辞任することになりました。永い間ご協力とご支援、ありがとうございました。引き続き東稲ニュースをお引き立てくださいますようお願い申し上げます。

(大島勝典)